

ベナンの風便り

2008年10月号

1、2年生は新人戦が終わり、多くの部活が良い成績を残すことができたみたいで良かったですね。3年生はいよいよ本格的に進路を決定しなくてはならない時期にきました。是非将来について真剣に考えて、進路選択、勉強をしてもらいたと思います。

ベナンではやっと学校が始まったのですが、先生や時間割などがまだ決まっていなくて、授業が始まらない状態です。生徒たちは毎日登校しますが、教室で少し待ってから下校をしています。このように授業開始が遅れるので、結局1年間で勉強しないといけない内容をすべて終わられないという現状もあります。また学校の近くでは古びた教科書が売られているのですが、値段を聞いてみると1冊約1600フラン(約400円)。ベナンの物価から考えるととても高い。だから教科書を持っていない生徒がたくさんいます。ただで教科書をもらえてしっかりと勉強ができるみなさんは幸せ者ですね。

さて学校の紹介は授業などが始まってからとするとして、今回はベナンの交通手段の紹介をしたいと思います。

ベナンの交通手段

何といても庶民の足ナンバーワンは「ゼミジャン」というバイクタクシーです。「ケケノン! (現地語でゼミジャン)」と叫んでバイクを止めて、行き先と値段の交渉をします。たくさんの数のゼミジャンが町中を走っており、近い都市間移動もゼミジャンで行きます。地元の人たちはたくさんの荷物(大量のバナナやキャッサバなど)を運転手の前や、自分の頭の上に乗せて移動をしています。町によって運転手の着ているシャツの色が違って、コトヌーは黄色です。



都市間移動は「タクシー」がメイン。オレンジ色のナンバーが目印です。たくさんの方が乗り込み、聞いた話だと11人(前4人、後7人)乗ることもあるようです。



町中や近距離の都市間移動に使う「乗合バス」。運転手とは別に料金徴収係が乗っていて、行き先を叫んでいます。通るルートにいれば、好きなところで乗り降りができます。



長距離の都市間移動に使う「長距離バス」。このバスはエアコンまで付いてとても快適でした。ただししっかりと休憩所があるわけじゃないので、トイレが心配です・・・。



小さな川を渡ったり、雨期に水位が増したときに利用したりする「ピログー」。写真のように、船頭さんが漕ぐタイプの他に、湖などではエンジン付きのボートもあるようです。

数年前まで列車が走っていたようですが、今は廃線になっていて、線路の上に建物が建ったりしています。飛行機の国内線も一応存在するようですが、あまり飛んでおらず、値段が高くバスでも移動可能ということもあり、庶民の足とはなっていません。

寒くなってきていると思いますので、身体に気をつけてくださいね。では!

ブログ更新中

ベナンの風: <http://benin.seesaa.net/>